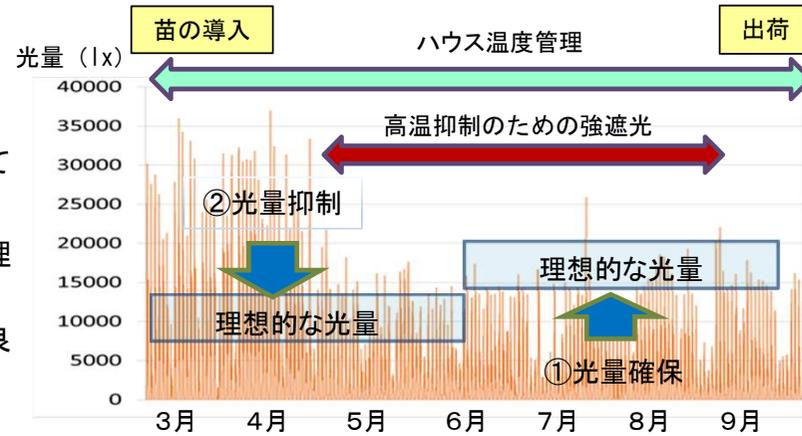


# 【成長戦略研究】秋出しコチョウランの省エネ品質向上技術の確立(R5~7)

総合農業技術センター

## 背景・目的

- 山梨県のコチョウラン生産額は8.3億円（洋ラン全国5位）
- 高品質なコチョウランを生産するために、冷暖房を用いてハウスを常に最低18℃/最高25℃に保持して栽培
- 温暖化や近年の電気代高騰により、夏場のハウス温度管理に苦慮。
- 夏場は高温抑制のため強遮光を行っているが、光環境不良により9~10月出荷株の花数減少等が問題
- 現状の管理は理想的な光管理と異なることが判明



【秋出しコチョウラン光管理】

➡ **光環境を改善し、品質向上を図る**

### ①後半の光量確保

冷房コストを上げずに  
栽培後半の光量を確保

### ②前半の光量抑制

余分な光をカットし、冷房コストを削減  
前半光量を抑制し理想的な光管理へ

品質は上げたいが、  
冷房コストを考えると、  
夏は遮光を強くする  
しかない。



光環境【良】



光環境【不良】

## 研究内容

### 1年目

- 品質向上する光管理の検討
  - ・栽培前半と後半の光量が品質に及ぼす影響を確認
- ①後半の光量確保
  - ・遮光程度削減による気温上昇の影響確認
  - ・光と気温が品質に及ぼす影響の確認

### 2年目

- ①後半の光量確保
  - ・日長延長による光量確保の検討
  - ・遮熱フィルムの温度抑制と品質向上効果の確認
- ②前半の光量抑制
  - ・適切な光量の検討と品質改善効果の確認

### 3年目

- 総合的な品質向上技術確立と省エネ効果の確認
- ①後半の光量確保  
+  
②前半の光量抑制
- ➡ **品質向上+省エネを実現**

## 期待される効果

- 秋出しコチョウランの**品質向上**  
花数の増加 +2輪/株
- 品質向上による**販売価格の向上**  
2輪あたり +2,000円/株
- 栽培前半の**冷房コスト削減**  
冷房コスト 20%程度削減
- コチョウラン**産地の維持・発展**

